



専門高校では、それぞれの専門分野に関するコンテストや資格試験に挑戦しています。工業高校でも県内大会、地区大会、全国大会とステップアップするものづくりコンテストが開催されています。また、鳥取県が独自に専門的な力のある生徒を認定するスーパー工業士の制度を設定しました。

## 専門力に挑む！

高校生ものづくりコンテスト([http://zenkoukyo.or.jp/index\\_contest/mono\\_index/](http://zenkoukyo.or.jp/index_contest/mono_index/))には、様々な分野がありますが、この夏には本校を会場に旋盤作業部門が7月23日(土)、測量部門が7月31日(日)に県内大会が開催されます。また、化学分析部門は7月23日(土)に東岡山工業高校で開催される中国大会に参加します。練習に励む生徒の表情は真剣そのものであり、頼もしさを感じます。



旋盤作業に挑戦するM3野口君



化学分析の練習に励むC科生徒

また、今年から鳥取県がスーパー工業士という資格認定制度を始めました。これは県内の工業学科の生徒を対象に、AIをはじめとするデジタル技術などを学び、生産現場の高度化など「新しいものづくり」を実践できる次世代人材を認定する制度です。希望者は2年生の夏に応募し、1年間の研修後にスーパー工業士として認定されます。この研修に参加できると資格試験の受検料を県が負担してくれたり、学習に必要な教材を購入することもできるそうです。ただし、各研修に参加するためにはある程度のレベルが必要です。県が開催した説明会では、講師の方から専門力に加えて数学、英語の力が必要だというアドバイスがありました。また、自分の好きなことの中で、周囲から喜ばれることを仕事にして生活できれば最高だと、ワークライフバランスを実践されている感想も伺うことができました。

実施時期	プログラム名	学習内容
2年生 下期	システムデザイン研修	システムの基本的な構成要素やシステム設計を行うための視点・考え方を学習する。(民間委託)
	データサイエンス研修	「社会におけるデータ・AI活用」「データリテラシー」「データ・AI活用における留意事項」を学習する。(Udemyを活用したオンライン動画学習)
3年生 上期	鳥取大学工学部による出前講座	マイコンを使ったAI実装演習を通じて、AI実装人材としての実践力を身に付ける。(鳥取大学委託)

それぞれの分野で専門力を高めることに挑戦してください。期待しています！

校長 松川 明義



【行事予定】7月19日(火)～21日(木)：保護者懇談会

22日(金)：午前中授業、基礎力診断適性検査(1・2年)、SPI模試(3年)

25日(月)：終業式

今週末の大会等：ものづくりコンテスト旋盤作業部門、第2種電気工事士技能試験

